

## 明けましておめでとうございます。2024年初回は带状疱疹について

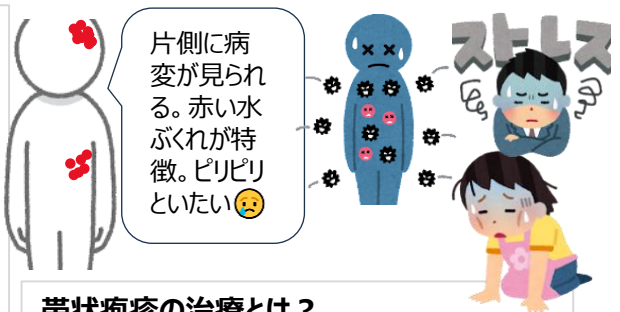
新年、あけましておめでとうございます。2024年は感染症が流行しない1年であってほしいものです。さて、コロナやインフルエンザはまだ流行中ですが、今回は最近よく耳にする「带状疱疹」について取り上げたいと思います。

### 带状疱疹とは？

带状疱疹は「水ぼうそう」と同じウイルスによる病気です。体の左右どちらかの神経に沿って、水ぶくれが帯状にできます。この、発疹はピリピリとした痛みを伴います。

症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れます。発疹がかさぶたになり治っても神経に痛みが残ることもあります。これを「带状疱疹後神経痛」とも言います。

带状疱疹は「水ぼうそう」になった人しか罹りません。水ぼうそうが治ってもウイルスは神経の中に潜んでいて、免疫が低下した時やストレス、疲れ等の要因で発症すると言われています。50歳からの発症率が高くなり、80歳以上では3人に1人が罹患すると言われています。

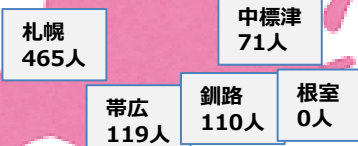


### 带状疱疹の治療とは？

治療は抗ウイルス薬の内服や点滴があります。また、発疹には塗薬を使用します。水ぶくれがかさぶたになったら、治癒となります。



### インフルエンザ発生状況 1/1~1/7



インフルエンザはまだ、Aが主流です。かなり減少していますがまだまだ、安心はできません。お正月で普段会わない人との交流で感染拡大の危険があります。体調の変化がある場合は無理せず、安静にすることも大切です。勤務してよいか悩むときは上司に相談しましょう。

### 带状疱疹を予防するには

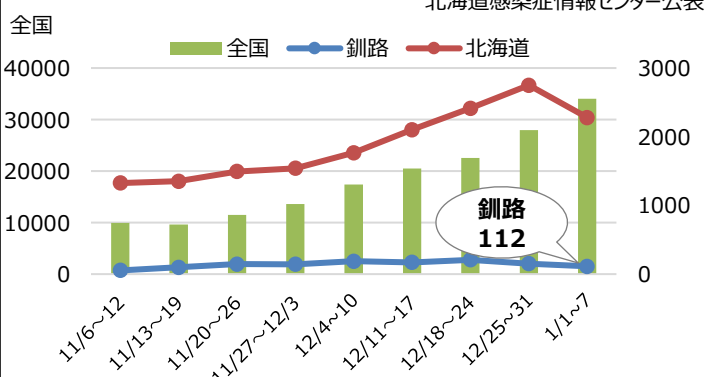
日頃から十分な休息をとりながら免疫機能の維持に努めましょう。免疫機能を低下させる疲労やストレスのない規則正しい生活を送り、しっかり、休養、バランスの良い食事を心がけましょう。ワクチンについては医師とよく相談の上、検討して下さい。



### 2023年度 手指消毒薬総使用量



### COVID-19陽性者報告数



### 新型コロナウイルス感染症及びその他の感染症対策のお願い

新しい年が明けました。今年もタイムリーな話題を皆さんにお届けしたいと思いますので、ぜひご参照ください。地域の皆様へお願いです。発熱等がある方は当院へ受診する前に病院へ連絡後、来院して下さい。症状が続く場合はかかりつけ医等にご相談下さい。受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いは1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は外出の自粛が求められます。症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

